

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ディープレイス		
○保護者評価実施期間	R8年2月2日		～ R8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	59	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	R8年2月2日		～ R8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援・不登校支援・SSTなど専門性の高い療育を提供し、お子さんの特性やペースに合わせた支援が実践できていること。	お子さんと相談しながら課題に取り組み、意思決定支援とコミュニケーション向上を促しています。タイピング検定・パソコン検定・作品発表会など、達成感や自己肯定感を育む機会を設けるとともに、学校と連携した出席認定や不登校支援にも積極的に取り組んでいます。	社内・外部研修を継続し、スタッフの専門性向上に努めます。
2	タイピング・パソコン検定・SSTなど専門性の高い取組を通じ、自己肯定感や社会性を育てていること。	作品発表会や小集団SSTイベントなど、達成感や自己肯定感を育む機会を設けています。	外部の情報にアンテナをはり、必要な支援を積極的に取り入れていきます。
3	学校と連携した出席認定対応や不登校支援に積極的に取り組んでいること。	まずは信頼関係を築くことを大切にし、興味のある課題からお子さんのペースで進めています。	子どもたちが通いやすい居場所づくりを目指します。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域社会との連携が十分に図れていること。	個別・1時間制の支援形態のため、地域と連携した取組を行う機会が限られています。	地域住民も参加できるイベント・行事の開催を検討していきます。
2	待機児童が増加している一方、定員・人材育成の面から受け入れ拡大が難しい状況であること。	専門性の高い療育を維持するため人材育成に時間を要しており、新規事業所の開設も現段階では難しい状況です。	報酬改定等の動向を踏まえながら、新規施設や定員拡充について随時検討を重ねていきます。
3	多様な年齢層へのペアレントトレーニング提供が難しい状況であること。	在籍する児童の年齢層が幅広く、一律のプログラム提供が困難なため。	外部機関への依頼も含め、ペアレントトレーニングの提供機会拡充を検討していきます。